特集
国民文化祭

やってきます。いわゆる、文化の国体です。

誰れのものでもなく、わたしたちみんなが、ともに楽しみ、わかちあい、育てていくのが文化。
この秋、熊本は、そんな文化の祭りの日本のステージとしてにぎやかになります。

ふるさとの文化は、私たちみんなの心の財産。
暮らしの揺りかご。
緑につつまれた文化の発信基地、熊本を
めざして、さあ、レッツトライです。

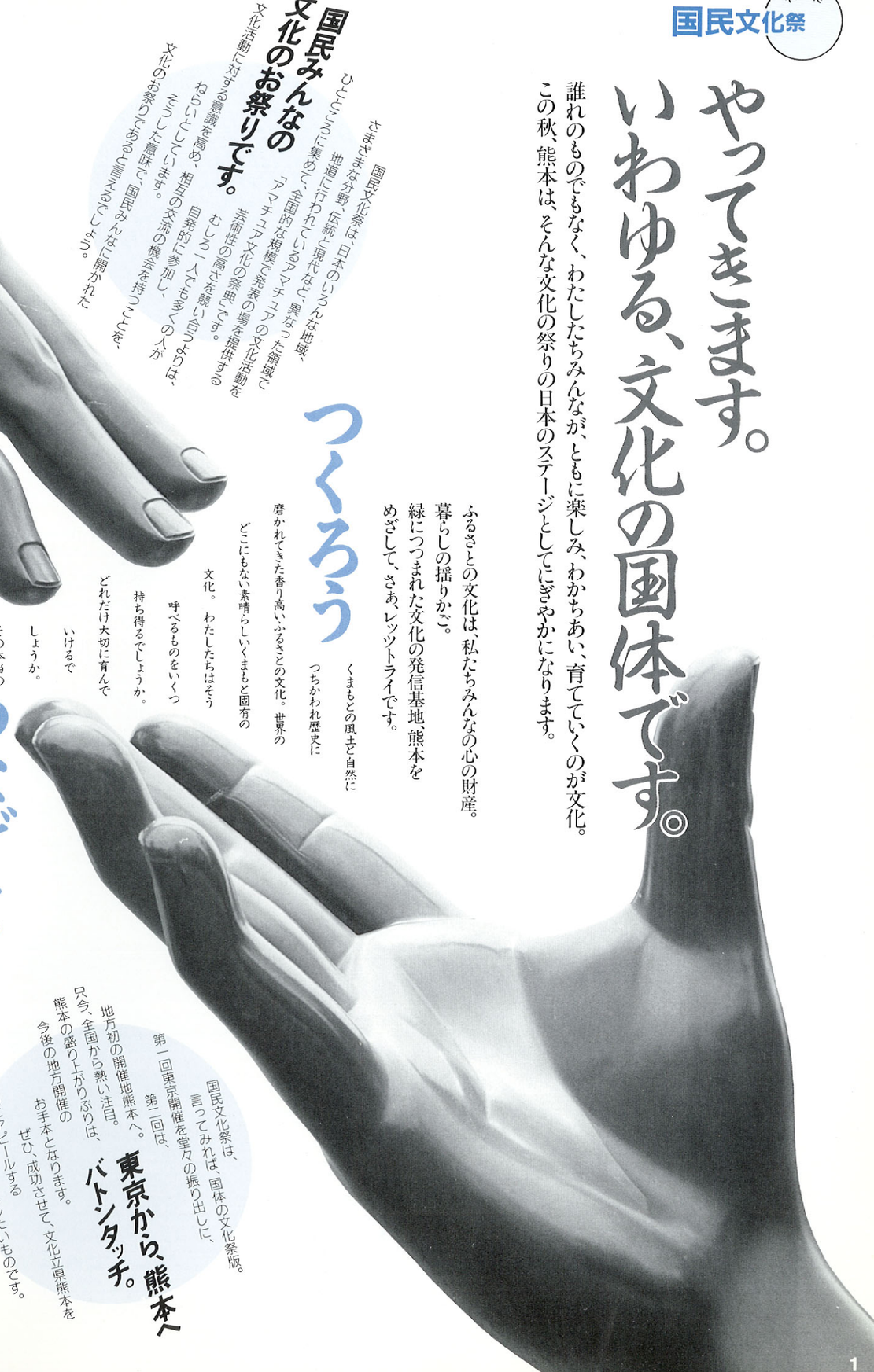
つくろう

磨かれてきた香り高いふるさとの文化。世界の
どこにもない素晴らしいくまもと固有の
文化。わたしたちはそう
呼べるものをいくつ
持ち得るでしょうか。
どれだけ大切に育んで
いけるで
しょうか。
その本当の

つなげよう

国民文化祭は、
言ってみれば、国体の文化祭版。
第一回東京開催を堂々の振り出しに、
第二回は、
地方初の開催地熊本へ。
只今、全国から熱い注目。
熊本の盛り上がりぶりは、
今後の地方開催の
お手本となります。
ぜひ、成功させて、文化立県熊本を
全国にアピールする
キッカケにしたいものです。

東京から、熊本へ バトンタッチ。



国民文化祭は、日本のいろんな地域、
地道に行われている、異なった領域で
「アマチュア文化の発表の場を提供する
芸術性の高さを競い合うよりは、
むしろ一人でも多くの人が
自発的に参加し、
そうした意味で国民みんなに開かれた
文化のお祭りであると言えるでしょう。

国民みんなの文化のお祭りです。

文化活動に対する意識を高め、相互の交流の機会を持つことを、
ねらいとしています。

さまざまな分野、伝統と現代など、異なった領域で
ひとところに集めて、全国的な規模で
「アマチュア文化の発信基地、熊本を
めざして、さあ、レッツトライです。

ひろげよう

普遍的な文化となる日が来るかも知れません。豊かな緑につつまれた
快適な社会環境で個性と創造性あふれる文化が育ち、なによりも人の暮らしが
うるおうところ。そんなくまもとの明日のために、わたしたちは、ふるさとの先人
たちから受け継いだ文化に新しい生命を注ぎ、もっともっと今日に生きる魅力的な
ものにリフレッシュしていきたいと思います。言ってみれば、それは「ローカル文化の
再生」。ひと握りの人だけではできない県民みんなの課題です。国民文化祭・熊本は
その大きなキッカケづくりになるもの。皆さんの心からの
参加が新しいふるさとの文化づくりの原動力となります。

素人のほほえましさもあれば、
アマチュアでしか出せない、
でもアマチュア文化には、
野放図のエネルギーと
いつも光っている。
素晴らしいアマチュアイズム。
きっと観るモノ、聴くモノ、
すがすがしい感動を
与えてくれることでしょう。

すがすがしい感動をくれるアマチュア精神。

玄人はだしもあれば、
アマチュアでしか出せない、
でもアマチュア文化には、
しなやかさ、ナイーブさが
いつも光っている。
胸をうつ、
心の汗がある。
文化活動の
与えてくれることでしょう。

出会いが、新しい文化をつくります。

さまざまな文化が、
ひとところにいっぺんに集まると、
当然そこには新しい交流が生まれます。
交流は出会いをつくり、
出会いは、
また新しい文化を産み出す
母胎となります。
これが、国民文化祭の
醍醐味の一つ。
目にすることができるかも。
今から、楽しみです。

三つの基本方針。

「地域性の尊重」「創造性の尊重」「国民文化祭・熊本」の
「祭り性の尊重」が、「国民文化祭・熊本」の
三つの基本方針。この考えに沿って、
催しは選りどりみどり。
知ってる馴染みの文化もあれば、
古き良きモノ、
現代を語るもの……。
掘り出しものもワクワク。
おー、これも文化なのかっていう感じで、
とにかく十日間、思う存分、
文化をエンジョイできます。

私たちは文化に包まれて生きているにもかかわらず、ふだん文化を意識することはありません。文化ということばを聞くとすぐ、しかつめらしい文学、音楽、絵画……などを思い浮かべて、それは「文化人」がすることと思いがちです。文学、音楽、絵画……も確かに文化ですが、しかし私たちの生活を作っているたくさんある文化の型の一つです。
朝起きて顔を洗うのも文化の型の一つなら（なぜなら朝、顔を洗わない
のですが、その意識されない文化を
イベントという形でみんなの前に明
らかにして、その背後にある私たち
の生活の型（伝統）に気づかせ、い
いものを将来に残し、さらに新しい
創造へ向かわせるというのが、国民
文化祭の狙いと言っていいでしょう。
今回開かれる国民文化祭がこの文
化の自己確認と将来への発展の契機
になればいいと思います。そしてそ
のエネルギーは参加
するひとりひとりか
ら生まれてきます。

新しい文化創造のエネルギーは、参加するひとりひとりから生まれてきます。

民族もいます）、現代の産業社会を作
っている科学技術も私たちの生活の
型を決めている文化です。そういう
意味で文化はなかなか意識されない

はじめての地方開催
ということも十分考
えました。楽しさも
加えました。特に県民のみなさんの
積極的な参加を期待します。

光岡 明
第86回直木賞受賞作家
熊本県近代文学館長

第2回 国民文化祭・熊本
●10月2日㊎⇒10月11日㊐